

原発事故 スタディツアー のご案内

福島第一原子力発電所のメルトダウンは七年余り前、
この日本で起きました。

すべての日本人はこの事故の当事者であり、
短歌を詠む私たちは直接的に作品に詠む、詠まないを問わず、
この事実を無視することはできないでしょう。

しかし、福島県に暮らすいわゆる当事者の方たちには
体験自体の重さに加え、現在進行形の苦難があり、
県外に暮らす人々との意識のずれが拡大している
のが現状かもしれません。

そこで、いまだ町の大半が帰宅困難区域に
指定されている浪江町などを訪ね、

原発被害の現実にふれるツアーを企画いたしました。

ご参加をお待ち申し上げます。

日時 二〇一九年一月十三日(日)～十四日(祝)

集合・宿泊 いわき湯本温泉 古滝屋

福島県いわき市常磐湯本町三函2008

(JR常磐線・湯本駅下車徒歩8分)

【日程】

一月十三日(日)午後四時～六時 オリエンテーション

「故郷喪失」吉田信雄(元教員 原発避難者)

「いま再び、当事者性について」高木佳子(歌人)

「ツアーから見えるもの」坂本雅彦(Fスタディツアー・ガイド)

午後七時～九時 懇親会 古滝屋に宿泊

一月十四日(祝)午前九時 古滝屋を出発↓請戸地区周辺↓

浪江町仮設商店街まちなみ・まるしえで昼食↓浪江駅周辺↓

国道6号線を南下し帰宅困難区域、原発近くを通過↓

富岡町周辺↓午後五時 古滝屋にて解散

参加費 全日程(一泊二日)二四〇〇〇円

(懇親会・宿泊・朝食(軽食・ツアー代含む)

ツアーのみ五〇〇〇円)

定員 二〇名(最少催行人員二名)

※ツインルームが基本ですので、できるだけ二名単位でお申込み下さい。

主催 現代短歌社＋Fスタディツアー

申込方法 左記いづれかにてお申込み下さい。

郵便 〒一七一〇〇三三 東京都豊島区目白二八二-C三 現代短歌社

TEL 〇三六九〇三二四〇〇 FAX 〇三六九〇三二四〇一

MAIL info@gendaitankasha.com